

# 消防



**消防出初式**

新年を迎え、心新たに市民の安全を願う、消防出初式を行います。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策などにより規模を縮小し、市役所本庁舎にて関係者のみで式典を実施します。

**日時** 1月8日(日)午前10時～

**場所** 市民福祉センター1階多目的ホール

**消防団第9分団 器具庫完成**

市では、防災活動の拠点となる消防団器具庫について、耐震化を目的とした建て替え事業に取り組んでいます。

このたび、第9分団器具庫(津田北町)が完成しました。



**問合せ先** 消防本部 ☎072・422・0119

# 市民課



**マイナンバーカード出張申請サポート**

写真撮影と申請書作成のサポートをします。

その場でマイナンバーカードをお渡しすることはできません。申込み後、1カ月半ほどで交付通知がきをお届けします。

受取りは申請者本人が保健・福祉合同庁舎1階へお越しください。

なお、国の定める本人確認書類(運転免許証+健康保険証など)をお持ち

**コンビニ交付サービス一時停止**

戸籍システムのバージョンアップのため、次の日程でコンビニ交付サービスの一部をご利用いただけませんのでご了承ください。

**停止期間** 12月20日(火)午後5時30分～11時

**運用再開** 12月21日(水)午前6時30分

**停止サービス** 戸籍事項証明書・戸籍附票の発行および他の市区町村にお住まいのかたの戸籍の利用登録申請

**問合せ先** 市民課 ☎072・43・7371

# おしらせ



ちいたくと、自宅へカードを送付します。

詳しくはお問合せまたは、ホームページをご覧ください。

**日時・場所**

①12月15日(木)・23日(金)・・・まちの駅かいつか

②12月16日(金)・・・山手地区公民館

③12月17日(土)・・・浜手地区公民館

いずれも午前10時～正午、午後1時30分～4時

**持物** 通知カード(お持ちのかた)、本人確認書類

**問合せ先** 市民課 ☎072・43・7094

# 健康

## ジェネリック医薬品を利用してみませんか

ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは、これまで使われてきた新薬(先発医薬品)の特許が切れた後に販売される医薬品で、新薬と同じ有効成分を同量含み、同等の効き目がある国に認められた医薬品です。

新薬に比べ、開発に係る費用が少ないため、薬の価格が安くなり、自己負担額も軽減されます。短期間でジェネリック医薬品に切り替える「お試し調剤」から始めることもできます。

まずは医師や薬剤師にご相談ください。

**【ご注意】**

- ・新薬と色や大きさ、形などが異なることがあります。
- ・すべての薬にジェネリック医薬品が対応しているわけではありません。
- ・変更できない場合もあります。
- ・薬局によっては、取扱っていないジェネリック医薬品もあります。
- ・ジェネリック医薬品に変更しても、自己負担額が変わらない場合もあります。

**問合せ先** 高齢介護課 ☎072・433・7040、国保年金課 ☎072・43・7273

## 離乳食講習会

聴いて・見て・作って・食べて離乳食を体験できます。

保育士・看護師による保育もありですので、安心して受講できます。

**日時・対象**

①12月23日(金)・5～8カ月頃までの子どもと保護者

②1月13日(金)・9～15カ月頃までの子どもと保護者

いずれも午後1時30分～3時30分

**場所** 保健・福祉合同庁舎3階(受付2階)

**参加費** 200円

**定員** 10組(定員になり次第締切、保育あり、保護者のみの参加可)

**申込・問合せ先** 健康推進課 ☎072・433・7000

## 検診

詳しくは広報4月号挟込みの年間保存版「保健だより」をご覧ください(要予約、インターネット予約可、定員になり次第締切)

市民税非課税世帯・生活保護受給中のかたは、事前申請が必要です。

**◆胃・肺・大腸がん・結核検診**

**日時** 1月16日(月)・30日(月)・2月6日(月)いずれも午前

**◆乳がん・子宮がん検診**

**日時** 1月19日(木)・23日(月)いずれも午後

**場所** 保健・福祉合同庁舎

**予約・申請・問合せ先** 健康推進課 ☎072・433・7091

## 健康相談

血圧、体格(体重・体脂肪率・体内年齢)などの測定、尿検査ができます(予約不要)。

禁煙相談や生活習慣病予防についての栄養相談は、保健師や管理栄養士が相談に応じます(要予約)。

**日時** 12月15日(木)午後1時30分～3時

**場所** 保健・福祉合同庁舎

**予約・問合せ先** 健康推進課 ☎072・433・7091

## 飛蚊症が初めて出たときは

飛蚊症(ひぶんしょう)は、中高年になるとよく起こる目の異常現象で、目の前に虫が飛び回るように見えます。問題は、飛蚊症が出た場合、一部のかたは網膜剥離になる可能性があることです。網膜剥離は放置すると100%失明します。

飛蚊症は気付きやすいです。はじめは気になりますが、大部分のかたは、何も重大なことは起こらずそのうち消えます。

しかし6%ほどの運の悪いかたは、これが網膜剥離の始まりの症状なのです。網膜剥離の症状は、飛蚊症に続いて視野が欠けるのですが、これが困ったことにある程度進行しないと気付きにくいのです。さらに網膜剥離が進むと、視力が落ちます。ここでやっと気が付いて眼科を受診し、手術が必要となります。ここまでくると網膜剥離が相当に進行していますので、つらい手術を受けても視力を取り戻すことは難しくなります。

しかし、飛蚊症が出てから5日以内に眼科で眼底検査を受けると、網膜剥離の前段階である網膜の小さい穴だけの状態で見つかれば、手術よりずっと楽なレーザー処置で網膜剥離が起こるのを防止できるのです。

まだ飛蚊症がないかたは、もし飛蚊症が出たら5日以内に眼科を受診することを覚えておいてください。

以前から飛蚊症があるかたはご心配なく。あなたは網膜剥離にならない運のよいかたでした。



貝塚市医師会 ☎072-423-4130

## 医科と歯科の協力

ガンは、日本人の死因の第1位である、いわば国民病であり、不治の病と長い間言われてきました。

脳卒中もまた、死因の上位を占める病気であり恐れられています。

ガンと脳卒中、この2つの病気は、歯科とは特に関係がなさそうに思えますが、実は大きな関わりがあります。

例えば、歯周病の状態が改善することで2つの病気はともに治療成績が向上し、患者の転院、退院が円滑になることがわかってきました。

大阪府下では、貝塚市を含む各市の地区歯科医師会が大阪府の委託を受け、医科・歯科連携の活動を行っています。

その1つは、ガンや脳卒中を専門に治療している拠点病院と呼ばれる医療機関を中心に行われます。歯科医師と歯科衛生士がチームを組み、拠点病院に出向いて入院患者の口腔ケア(歯ブラシの使い方指導など)の研修を行ったり、互いに他科の治療に関して講演やセミナー、実習などで理解を深めたり、個別に入院患者の口腔ケアの相談を担当医療スタッフから受けたりします。10年近く続いてきた活動もここ2年ほどコロナ禍のために断続的な中断を余儀なくされてきましたが、今年度に本格的な再開となり、貝塚市歯科医師会の担当医、衛生士も拠点病院に出向いています。

貝塚市歯科医師会

